

今日のキーワード 米大統領選挙、「揺れる州」の動向は？（米国）

米国の大統領選挙では、伝統的に北東部やカリフォルニア州が民主党の地盤、中西部や南部が共和党の地盤といわれます。「揺れる州」（スイング・ステート）とは、どちらの地盤ともいえず、選挙のたびに勝利政党が変わる州のことです。州ごとに投票し、1票でも多く獲得した候補者がその州に割り当てられた選挙人を総取りする米国の大統領選挙では、「揺れる州」をいかに制するかが焦点となります。

ポイント1

クリントン候補の支持率がトランプ候補を上回る トランプ候補の支持率は下降線

- 調査会社RealClear Politics（RCP）社が集計した支持率を見ると、10月26日現在でクリントン大統領候補は48.5%、トランプ候補が42.8%でした。民主党の大統領候補がクリントン氏に正式決定した7月28日の時点では、トランプ候補が45.6%とクリントン候補の44.7%を上回っていましたが、トランプ候補の支持率はこの時がほぼピークでした（トランプ候補の支持率のピークは7月27日の45.7%）。

ポイント2

選挙人獲得見込み数ではクリントン候補が圧倒的に優勢 トランプ候補の勝利には「揺れる州」の多くを制する必要

- 勝者がその州の選挙人を総取りする方式では、米国全体の支持率よりも、州ごとの動向が重要になります。そこでRCP社が集計した各州の想定選挙人獲得数を見ると、10月26日現在でクリントン候補は全体538名の選挙人のうち252名、46.8%でした。一方、トランプ候補は126名、23.4%でした。
- 両候補とも選挙人の獲得を確かにできていない、いわゆる「揺れる州」は大票田のテキサス州（選挙人数：38名）、フロリダ州（同29名）、ペンシルベニア州（同20名）など10州です。クリントン候補があと18名の選挙人を獲得すれば過半数の270名に到達するのに対し、トランプ候補が大統領選を制するには、「揺れる州」の過半の州で勝利しなければなりません。

米大統領候補者の選挙人獲得見込み数

クリントン 252名 46.8%	「揺れる州」 160名 29.7%		トランプ 126名 23.4%	
	州名	選挙人数 支持率 (%)		
		(名)		クリントン
	フロリダ	29	46.4	44.8
	オハイオ	18	43.7	44.8
	ペンシルベニア	20	45.7	41.3
	ノースカロライナ	15	45.8	43.8
	ネヴァダ	6	45.7	42.1
	アイオワ	6	38.0	41.7
	アリゾナ	11	43.5	42.0
	ジョージア	16	42.3	46.3
	テキサス	38	38.8	43.6
	メイン	1	37.0	41.7

（注）2016年10月26日現在。青はクリントン候補が優勢の州、オレンジはトランプ候補が優勢の州。メイン州には2つの選挙区があり、表はそのうちの第2選挙区。四捨五入の関係で選挙人獲得見込み数の割合の合計はちょうど100%になりません。

（出所）RealClear Politics社資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

クリントン候補勝利でも、議会のねじれ現象は継続へ

- 現時点での情勢を客観的に判断すれば、トランプ候補の逆転は難しく、次期大統領はクリントン氏になる可能性が高いと見られます。
- ただし、議会選挙では、民主党が下院で過半数を獲得することは難しく、上院の民主党優位、下院の共和党優位という「ねじれ」は継続する見通しです。

ここもチェック！

2016年10月24日 最近の指標から見る米国経済（2016年10月）
2016年10月24日 「ベージュブック」、景気、物価とも良好（米国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。